

令和5年度 学校評価報告書 **目標設定**・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和3年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)		
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等	
1 教育課程 学習指導	<p>①工業に関する専門教科・科目を中心に、理数教育及び外国語教育の充実に注力した教育課程編成を行う。</p> <p>②グローバルコミュニケーション能力育成のための教育のさらなる検討を行う。</p> <p>③創造的な問題解決力を育成するために、生徒が主体となる双方向授業を展開する。</p> <p>④実践的・体験的学習を重視して、自ら課題を発見し解決するための力を育む授業改善を実施する。</p>	<p>①神工 STEAM 教育の実践・推進に向け、新教育課程に即した指導計画の作成を行うと共に高大企業連携の充実を図る。</p> <p>②英語教育として各教科においてグローバル教育を意識した取組を展開し、生徒の視野を広げる。</p> <p>③④各教科においてスタディサプリ等を活用し、授業でのタブレット利用方法の充実を図る。</p> <p>③④各教科において創造的な問題解決力を育成するための指導方法の研究と充実を推進する。</p>	<p>①STEAM 教育の校内組織図の作成および教員向け研修を実施する。また目的別学習活動コンソーシアムの更なる推進を図る。</p> <p>②グローバル教育について、校内組織図の作成および教員向け研修等を実施する。</p> <p>③④スタディサプリ配信週間を継続するとともに、授業での活用に向けて教員向け研修会を実施する。</p> <p>③④課題研究の内容に課題の発見のしかたや解決プロセスについての学習を組み込む。</p>	<p>①STEAM 教育の校内組織図を作成および教員研修が実施できたか。また目的別学習活動コンソーシアムの充実が図れたか。</p> <p>②グローバル教育について、校内組織図の作成ができたか。また、教員研修が実施できたか。</p> <p>③④教員によるスタディサプリの課題の配信回数および生徒の利用状況が向上したか。</p> <p>③④課題研究の内容に課題の発見のしかたや解決プロセスについての学習を組み込むことができたか。</p>						
2 (幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>①多様性を理解し、来たる国際社会の一員として活躍できる人間性の育成を図る。</p> <p>②リーダーシップや協働意識を養い、生徒の人間性の育成を図る。</p>	<p>①自他の違いを理解し他人を尊重できる人格・社会生活の考え方を育てる。</p> <p>②学習活動や学校生活等で仲間を尊重し合い、安心安全な学校生活を保障できるよう、個に応じた支援体制を充実させる。</p>	<p>①3年間を見通した講演会の配置。</p> <p>②計画的な基本的な生活習慣指導の実践。</p> <p>②指導・支援体制の充実と対応マニュアル周知徹底</p> <p>②効果的な支援情報の共有体制。マニュアル周知徹底</p>	<p>①効果的に講演会を実施できたか。</p> <p>②生活習慣指導を計画的に実施できたか。</p> <p>②指導・支援体制の充実ができたか。</p> <p>②情報の共有が効果的にできたか。</p>						

視点	4年間の目標 (令和3年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3 進路指導・支援	①生徒のキャリア発達を、正しい勤労観や職業観に基づく進学する意味や就職する意味について、十分に理解した段階まで引き上げる。	①生徒のキャリア発達の醸成を家庭からも促す体制を整えて、家庭と学校が連携して生徒のキャリア発達を支援していきけるようにする。	①現行の進路セミナーに加え、デザイン科1・2年生に総合・推薦型入試準備セミナーを実施する。 ①新たに公務員講座や鉄道就職希望者講座等を実施する。 ①全学年保護者対象の進路指導説明会の実施。3年生は進学と就職希望とに分けて実施。 ①18歳成人に伴う「シチズンシップ講演会」の実施を検討する。	①デザイン科対象総合・推薦型入試準備セミナーが実施できたか。 ①公務員講座、鉄道就職希望者講座等を実施できたか。 ①3年生保護者対象進路指導説明会を進学向けと就職向けに分けて実施できたか。 ①シチズンシップに関する講演会を実施できたか。					
4 地域等との協働	①各種連携や地域との協働を通じた生徒の創造的な問題解決力を養う。 ②専門高校の教育内容や理工系進路における他学科に対する優位性を地域や中学生に理解してもらおう。	①中学生とその保護者に向けて本校の優れた実践とその成果を発信し、専門高校のイメージ向上を図る。 ②進路情報に加え、専門高校の教育内容やITを活用した取組を発信する。	①学校紹介動画のリニューアルやSNSで行事の予告などの広報活動を通し、中学生に本校の魅力を伝える。 ②Webページの進路の部分の更なる充実を図る。	①新入生にSNSの利用状況などについてのアンケートを実施データから広報計画を立てたか。SNSの更新が円滑に行えたか。 ②Webページの進路の部分の充実が図れたか。					
5 学校管理 学校運営	①創造的な問題発見・解決能力及び先端技術活用力を養う教育活動のための環境について、より一層充実させる。 ②生徒と向き合う時間を確保するために、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。	①教員のICT機器を活用した学習活動および実践の充実に向け、研修等を通し、活用スキルの向上を図る。 ②デジタル採点ソフトを導入し、定期試験の採点業務の軽減・活用ならびに採点ミスの防止を図る。	①生徒が購入した1人1台端末を活用した授業展開の工夫、教材研究の推進を行う。 ②定期試験の採点におけるデジタル採点ソフトの使用率を、定期試験を実施する科目の講座数比で、5割以上にする。	①生徒が購入した1人1台端末の授業での活用状況。 ②デジタル採点ソフトの活用状況。					